世界遺産に関する展示

2006年にユネスコ世界遺産に登録された旧都を訪ねてみませんか。ローマ時代の陣営から近代都市となるまでのほぼ2000年に渡る市史を辿ってみませんか。特に中世にはレーゲンスブルクは黄金時代を迎えます。帝国議会の所在地として国際政治の舞台となり、河畔という立地のおかげで国際貿易の中心でもありました。またここでは、一般市民の日常生活についての展示もご覧いただけます。当時の市民の暮らし、信仰生活、時代を超えて伝えられてきた印象的な建造物の数々について、二つの階にわたって展示された珍しい展示品やインタラクティブなメディア情報で歴史を追体験していただけます。分りやすく、変化に富んだ情報をお楽しみください。

入場無料!

みなさまのおいでをお待ちしております。

毎日 10 時から19 時まで | 1年365 日

世界遺産レーゲンスブルク・ビジターセンター
Weiße-Lamm-Gasse 1, D-93047 Regensburg

連絡先 Regensburg Tourismus GmbH
Tel. + 49 941 507-4410 | tourismus@Regensburg.de

下記サイトでは英語でも第一印象をお楽しみいただけます。
www.regensburg-welterbe.de

奥付 | レーゲンスブルク市役所, Postfach 110643 | コーディネーション: マティアス・リップ/Matthias Ripp | 編集: オイゲン・トラップ博士/Dr. Eugen Trapp; スザンネ・ハウアー/Susanne Hauer | 写真: ペーター・フェルストル/Peter Ferstl (レーゲンスブルク市写真記録課) | デザイン: PR+Werbung Ludwig Faust | 印刷: Vorm. Manzsche Buchdruckerei und Verlag

世界遺産レーゲンスブルクに関する専門的なご質問は下記にお尋ねください。

都市計画・土木建築部

レーゲンスブルク市世界遺産コーディネーション
D.-Martin-Luther-Str.1, D-93047 Regensburg
電話 +49 941 507-4614 | welterbe@regensburg.de

詳細情報やご案内は下記をご参照ください。
www.regensburg-welterbe.de (英語)

Organisation der Vereinten Nationen für Bildung, Wissenschaft, Kultur und Kommunikation

Altstadt von Regensburg mit Stadtamhof Weltererbestätte seit 2006

STADT REGENSBURG

世界文化遺産レーゲンスブルク ビジターセンター

世界文化遺産レーゲンスブルクの最新情報は下記ウェブサイトをご参照ください。
www.regensburg-welterbe.de

welterbe_folder_jap.indd 1 14.12.11 10:59

ユネスコ世界遺産「レーゲンスブルク旧市街とシュタットアムホーフ地区

レーゲンスブルク旧市街とシュタットアムホーフ地区は、2006年7月13日にドイツで32番目の世界遺産としてユネスコ世界遺産に登録されました。対象となった建造物群には約1000の建築記念物が含まれています。183ヘクタールの敷地には、今でも約15000人の市民が暮らしています。世界遺産として世界遺産リストに登録されるためには、世界遺産委員会が挙げる登録基準10項目のうち少なくとも一つを満たさなければなりません。レーゲンスブルクの歴史的中心部は登録基準のii、iii、ivをクリアして、世界遺産リストに登録されました。

レーゲンスブルクの建造物群を見ると、中世においてアルプス以北の商業の中心としていかに大きな役割と影響力を持っていたか分ります。レーゲンスブルクはヨーロッパ大陸でイタリア、ボヘミア、ロシアへ向かう交易路の重要な商品集積地の一つだったのです。
(登録基準2)

レーゲンスブルク旧市街は、神聖ローマ帝国の伝統文化を伝える比類なき証人といえましょう。中世最盛期には何度も帝国集会の会場となり、ヨーロッパ近代史においては1663 年から1806年にいたるまで帝国議会の所在地として重要な役割を果たしました。9世紀に遡る二つの皇帝居城やよく保存されてきた歴史的建造物は、レーゲンスブルクのかつての豊かさや大きな政治力の象徴です。
(登録基準3)

レーゲンスブルク旧市街は中央ヨーロッパにおける典型的な中世の商業都市であり、今日なおその歴史的な発展過程が目に見える形で残されています。とくに11世紀から14世紀までの商業発展の様子がよく分ります。
(登録基準4)

旧市街

中世に遡るレーゲンスブルク旧市街は第二次世界大戦中も戦禍をほぼ免れたため、今日では中世の面影を残すドイツ唯一の大都市となりました。今でも中世の都市生活を身近に体験することができます。

シュタットアムホーフ地区

同地区は当初石橋の北端に位置する群居地で、レーゲンスブルクの町と一体をなしていました。しかしレーゲンスブルクが13世紀に帝国自由都市になると、バイエルンに属する同地区とは対峙する形になり、その状態はレーゲンスブルクがバイエルン王国に統合される1810年まで続きました。

石橋

レーゲンスブルクは、ローマ時代以降ヨーロッパで初めて石の橋梁建設に挑んだ町でした。この石橋は1135年から1146年の間に構築されたもので、当初350メートルの長さと三つの塔を有したことから「世界八番目の不思議」と言われたものです。